

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	150	課コード	0510	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 国民年金制度の周知、加入促進及び納付奨励	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	健康福祉部・国保年金課								
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市											
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数		4人 (換算人数)		2.66人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	28,982千円 (うち人件費 23,142千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	34003	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	国民年金制度の長期的な安定を図るため、制度内容の周知や窓口相談体制の充実に努め、制度への加入の促進と保険料の納付率の向上を図ります。				事業目的	市民からの国民年金に係る届出等を受理し、日本年金機構へ適正な報告を行い、併せて加入の促進及び納付率の向上に努める。									
(3) 事業内容	内容	①国民年金被保険者から提出された届書、申請書、申出書又は請求書の記載事項及び添付書類に不備がある場合は、適宜その不備の補正を求め、補正されたものを受理する。 ②日本年金機構への適正な報告を行う。 ③国民年金制度の周知に努め、納付率の向上をはかる。				当該年度執行計画	①日本年金機構と協力連携し、適正な報告を行う。 ②口座振替等納付の督促に努め、納付率の向上をはかる。 ③消費税率引き上げに伴う年金生活者支援給付金の支給に向け適切な対応をはかる。									
		当該年度活動結果指標	国民年金加入者の納付率		単位	%	想定値	72.4		実績値						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	法定受託事務を実施する中で、加入者の納付率を向上させる。				直接	国民年金加入者の納付率		%	72.3	72.4						
令和3年度	法定受託事務を実施する中で、加入者の納付率を向上させる。				直接	国民年金加入者の納付率		%		72.5						
令和4年度	法定受託事務を実施する中で、加入者の納付率を向上させる。				直接	国民年金加入者の納付率		%		72.6						
(7) 事業実施上の課題と対応	国民年金制度は法改正等により制度が複雑で理解を得るのが難しい。加えて年金問題も未だ未解決であり、市民の不信・不安は解消されていないことから国民年金保険料の納付意欲が薄れている。しかし、引き続き国民年金のしおりや広報・ホームページ等を通じて根気強く制度を理解していただけるよう丁寧な説明と正確な情報を提供していく。				代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			嘱託職員報酬等(2号2名)	5,418		パート会計年度(事務補助)2人	5,100		パート会計年度(事務補助)2人	5,100		パート会計年度(事務補助)2人	5,100		パート会計年度(事務補助)2人	5,100
			臨時職員賃金等(1名)	2,126		パート会計年度(事務補助産休)1人	372		普通旅費	2		普通旅費	2		普通旅費	2
			臨時職員賃金等(産休対応1名)	2,069		普通旅費	2		研修旅費	6		研修旅費	6		研修旅費	6
	普通旅費	6		研修旅費	6		消耗品費(事務用品他参考図書等)	263		消耗品費(事務用品他参考図書等)	263		消耗品費(事務用品他参考図書等)	263		
	研修旅費	7		消耗品費(事務用品他参考図書等)	263		通信運搬費	97		通信運搬費	97		通信運搬費	97		
	消耗品費(事務用品他参考図書等)	240		通信運搬費	97											
	通信運搬費	100														
	予算(決算)額	合計		9,966	合計	5,840	合計	5,468	合計	5,468						
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	100%	9,966	補助率	100%	5,840	補助率	100%	5,468	補助率	100%	5,468			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		0	0		0		0		0		0	0			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)			1.76			2.66			2.66			2.66			
	正職員人件費			15,488			23,142			23,142			23,142			
	嘱託職員報酬額			5,418			0			0			0			
	臨時職員賃金額			4,195			0			0			0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			25,454			28,982			28,610			28,610				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			362.08千円/%			400.3千円/%										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	健全な国民生活の維持及び向上に寄与するための国民年金制度の長期的な安定を図る必要がある。経済状況の悪化や年金制度に対する不信感から納付率が低迷している中、年金制度を理解していただきながら、納付督促や免除申請など個々の状況に応じた助言が必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	72.3	72.4	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.25		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (151), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1. 事業の概要 (PLAN)) with sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫をしているか?, (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他 (事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (152), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 現状どおり推進 and a row for 評価コメント.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	153	課コード	0510	会計種別	国民健康保険事業特別会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	--------------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	国民健康保険事業の健全化対策		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・国保年金課	
		個別事業	被保険者証・受給者証の交付更新		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	12人 (換算人数)		1.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	23,466千円 (うち人件費 10,440千円)			
					(変更後)		千円 (うち人件費 千円)			
(2) 目的	⑧施策の位置づけ	施策コード	34002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名)			
(3) 事業内容	内容	国民健康保険制度と後期高齢者医療制度を健全に運営するため、資格や賦課の適正化に努めるとともに、口座振替や納付相談等を実施して、保険料・保険料の収納率の向上を図ります。また、特定健康診査・特定保健指導などの保健事業を通じて疾病の予防意識を啓発するなど、医療費の適正化に向けた取り組みを進めます。				事業目的	円滑な保険給付の利用に供する。			
		①新規加入等による被保険者証の随時交付（一斉更新は令和2年度、令和4年度） 8月に一斉更新、他随時毎月更新 ②高齢者受給者証の更新（平成30年度より被保険者証と一体化） ③退職者被保険者証切替交付 ④令和2年度3月より実施される、マイナンバーカード・保険証を用いたオンラインでの資格確認システムへ対応するため、国民健康保険証へ2桁付番し、国保連合会システムを利用し情報をシステム連携する等の国保システム改修				当該年度執行計画	①新規加入等による被保険者証の随時交付（一体化した被保険者証の一斉更新は令和2年度、令和4年度） ②高齢者受給者証の更新（平成30年度からの被保険者証の一体化により、高齢者受給者証のみの一斉更新は令和3年度、令和5年度）③退職者被保険者証の交付 随時 ④令和2年度3月より実施される、マイナンバーカード・保険証を用いたオンラインでの資格確認システムへ対応するための国保システム改修			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)		指標種類	指標		単位	件	想定値	19,883
当該年度	被保険者証の適正な交付。			直接	資格証明書及び短期保険証発行/被保険者世帯数		%		実績値	
令和3年度	被保険者証の適正な交付。			直接	資格証明書及び短期保険証発行/被保険者世帯数		%		2.5	2.4
令和4年度	被保険者証の適正な交付。			直接	資格証明書及び短期保険証発行/被保険者世帯数		%			3
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		通信運搬費	3,852	印刷製本費	91	印刷製本費	91	印刷製本費	91	
		9月補正 委託料 (オンライン資格確認)	2,991	通信運搬費	8,948	通信運搬費	3,852	通信運搬費	8,948	
				* 委託料 (令和2年度オンライン資格確認等システム対応改修委託料)	3,940	負担金 (オンライン資格確認等システム運営負担金)	562	負担金 (オンライン資格確認等システム運営負担金)	562	
予算(決算)額	合計	6,843	合計	13,026	合計	4,505	合計	9,601		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	43%	2,991	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		0	0		0	0		0	0
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他	3,852	■特会 □受益 □基金 □その他	9,086	■特会 □受益 □基金 □その他	4,505	■特会 □受益 □基金 □その他	9,601	
(10) 人件費等	換算人数(人)		1		1.2		0.95		0.95	
	正職員人件費		8,800		10,440		8,265		8,265	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		15,643		23,466		12,770		17,866	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			0.74千円/件		1.18千円/件					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	国民健康保険法によるため被保険者証の交付。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	2.5	2.4	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (b/f × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要	
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.01		単位	費用単位	実績値 (h)	対目標値 (%) (e/h) × 100			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (155), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (156), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdowns for Heisei 31 and Reiwa 2-4.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	157	課コード	0510	会計種別	国民健康保険事業特別会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	--------------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 国民健康保険税の課税適正化対策	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	健康福祉部・国保年金課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	7人 (換算人数)	0.85人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 7,395千円 (うち人件費 7,395千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード 34002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ (計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	国民健康保険制度と後期高齢者医療制度を健全に運営するため、資格や賦課の適正化に努めるとともに、口座振替や納付相談等を実施して、保険料・保険料の収納率の向上を図ります。また、特定健康診査・特定保健指導などの保健事業を通じて疾病の予防意識を啓発するなど、医療費の適正化に向けた取り組みを進めます。			事業目的	国保加入者に国保税の計算方法及び納付方法を周知し、国保税の重要性の理解を得ることで、口座振替利用者数や収納率向上に結びつける。					
(3) 事業内容	内容	①窓口説明 (加入・脱退手続き時に国保税の計算、納付方法等の説明) ②納税通知書の送付時に説明チラシ同封 (計算、納付方法等の説明チラシを同封) ③ホームページ・広報等による周知 (国保の現状、計算方法、減免、納税相談等を掲載) ④国保月間の周知 (11月は、ちば国保月間としてポスター等を掲示) ⑤公的年金からの特別徴収導入に伴う保険料の賦課・徴収制度の周知			当該年度執行計画	4月～3月：窓口・電話対応 (加入・脱退手続き時や課税等の問い合わせに対し、的確に解りやすい説明を心がける。) 6月～3月：納税通知書送付時に説明チラシを同封 (当初及び更正の説明チラシを同封し送付する。) 4月・6月・11月・12月・3月：広報掲載 (制度改正、算定方法、口座振替、減免、納税相談、社会保険料控除等の情報を提供する。) 随時：ホームページ掲載 (国保制度、制度改正、予算・決算状況、減免、試算等の情報提供をする。)					
		当該年度活動結果指標	啓発回数 納税通知書送付時説明チラシ同封 1回 広報掲載 12回 ホームページ掲載 1回	単位	回	想定値	14				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	国保制度の重要性、国保税の算定・納付方法等の周知により収納率向上を図る。			直接	口座振替利用率 (口座振替利用者数/納税義務者数)		%	38.51	38.5		
令和3年度	国保制度の重要性、国保税の算定・納付方法等の周知により収納率向上を図る。			直接	口座振替利用率 (口座振替利用者数/納税義務者数)		%		38.6		
令和4年度	国保制度の重要性、国保税の算定・納付方法等の周知により収納率向上を図る。			直接	口座振替利用率 (口座振替利用者数/納税義務者数)		%		38.7		
(7) 事業実施上の課題と対応	収納率向上のためには、制度に対して広報、チラシ、ホームページ等による積極的な周知が必要である。なお、長寿医療制度創設に伴い75歳以上の高齢者が被保険者から抜けることや口座振替者が特別徴収に移行するため、口座振替利用率低下が懸念される。従って、目標値は、30年度決算時の数値を参考とした。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		随時：窓口・電話対応 随時：制度についてのHP掲載 6～3月：納税通知書に啓発チラシを同封 4・6・1月の広報：制度についての特集記事掲載 各月16日広報：納期のお知らせ			随時：窓口・電話対応 随時：制度についてのHP掲載 6～3月：納税通知書に啓発チラシを同封 4・6・1月の広報：制度についての特集記事掲載 各月16日広報：納期のお知らせ			随時：窓口・電話対応 随時：制度についてのHP掲載 6～3月：納税通知書に啓発チラシを同封 4・6・1月の広報：制度についての特集記事掲載 各月16日広報：納期のお知らせ			随時：窓口・電話対応 随時：制度についてのHP掲載 6～3月：納税通知書に啓発チラシを同封 4・6・1月の広報：制度についての特集記事掲載 各月16日広報：納期のお知らせ
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
		国庫支出金 補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0			
	県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0			
	起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	0			
	一般財源	0		0		0		0			
	その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.65		0.85		0.65		0.65			
	正職員人件費	5,720		7,395		5,655		5,655			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,720		7,395		5,655		5,655			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	408.57千円/回		528.21千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))					改善検討
	国民健康保険加入者が安心して医療が受けられるよう、安定した歳入を確保し制度の健全な運営を図るため、国保制度の周知を図り、口座振替率及び収納率の向上に結びつける。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	38.51	38.5	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である			実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	0.52		単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (158), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (159), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and goals.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1355), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1364	課コード	0510	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 後期高齢者医療制度の健全運営	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・国保年金課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	平成20年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.56人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	12,248千円 (うち人件費 4,872千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	34002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	国民健康保険制度と後期高齢者医療制度を健全に運営するため、資格や賦課の適正化に努めるとともに、口座振替や納付相談等を実施して、保険料・保険料の収納率の向上を図ります。また、特定健康診査・特定保健指導などの保健事業を通じて疾病の予防意識を啓発するなど、医療費の適正化に向けた取り組みを進め、後期高齢者医療被保険者を対象にはり・きゅうマッサージ利用の給付を補う。			事業目的	はり・きゅうマッサージ施設利用者等への助成を行い、高齢者の健康の保持増進を図ること。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	はり・きゅうマッサージ施設利用券の発行。1人あたり年12枚を交付。(通年) 請求に基づき、施術所へ施設利用券1枚あたり1,000円の支払を行う。					
					当該年度活動結果指標	利用件数(施設利用券利用枚数)	単位	件数	想定値	7,300	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	保健事業として、はり・きゅうマッサージ利用等の給付の円滑な実施				直接	利用率(執行額/予算額)		%	94	95	
令和3年度	はり・きゅうマッサージ利用等の給付の円滑な実施				直接	利用率(執行額/予算額)		%		96	
令和4年度	はり・きゅうマッサージ利用等の給付の円滑な実施				直接	利用率(執行額/予算額)		%		97	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		印刷製本費(はり・きゅう・あん摩等施設利用券印刷代)	56	印刷製本費(はり・きゅう・あん摩等施設利用券印刷代)	66	印刷製本費(はり・きゅう・あん摩等施設利用券印刷代)	66	印刷製本費(はり・きゅう・あん摩等施設利用券印刷代)	66		
		通信運搬費(施設利用券等郵送料)	10	通信運搬費(施設利用券等郵送料)	10	通信運搬費(施設利用券等郵送料)	10	通信運搬費(施設利用券等郵送料)	10		
		はりきゅう等助成費	7,900	はりきゅう等助成費	7,300	はりきゅう等助成費	7,300	はりきゅう等助成費	7,300		
予算(決算)額	合計		合計		合計		合計				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		3,226		2,636		2,636		2,636	7,376	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,740	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,740	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,740	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,740	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.56		0.56		0.56		0.56			
	正職員人件費	4,928		4,872		4,872		4,872			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,894		12,248		12,248		12,248			
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	1.63千円/件数		1.68千円/件数								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	保健事業は、被保険者の健康の保持増進を目的に、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施している。そのため継続的な事業の実施が必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	94	95	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.78	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1366), 課コード (0510), 会計種別 (後期高齢者医療特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table 1: 1. 事業の概要 (PLAN). Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Main body table 2: Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Footer table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1752 課コード 0510 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 後期高齢者医療制度の健全運営... ②部課名 健康福祉部・国保年金課...
(2) 目的: 国民健康保険制度と後期高齢者医療制度を健全に運営するため...
(3) 事業内容: 内容 国民健康保険制度と後期高齢者医療制度を健全に運営するため...
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果) 後期高齢者医療財政についての応分の負担額の支出...
(7) 事業実施上の課題と対応: 被保険者が増えているため、負担金も増加している。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) (1)目標設定は適切か?
(6) (2)事業費削減の工夫をしているか?
(7) (3)目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1919), 課コード (0510), 会計種別 (国民健康保険事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2107), 課コード (0510), 会計種別 (後期高齢者医療特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and goals.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.